



JICA 筑波 絆で結ぶ国際協力 —世界と TSUKUBA—



陸稲の栽培・品種選定のエキスパートを目指す ～NERICA も活用して～

JICA 筑波の施設を活用し実践的な知識・技術を習得



JICA 筑波は、全ての JICA 国内センターの中で唯一、敷地内に圃場(水田・畑)、温室、化学実験施設等の充実した農業研修施設を備えています。本コースでは、それらの施設を活用し、研修員が自ら圃場で播種、肥料、病害虫、雑草防除等の栽培管理を行います。また、好適な品種の選定や育種、その特性の系統維持のための原原種生産技術も身につけています。

自ら分析し、科学的・多角的に分析する能力を養成

本コースでは日本の陸稲品種ばかりでなく、高収量のアジア稲と病気・雑草に強いアフリカ稲の交配によって開発された稲、アフリカのための新しい米 NERICA、マダガスカルの方 FOFIFA(高タンパク・高収量米)も使い、植物体や収穫物の大きさ・重量、病害の発生等、様々なデータを自ら分析し、品種毎の特性や、栽培方法の違いに起因する生育状態の違いなどを調査することで、科学的・多角的に分析する能力を養っています。



研修員一人一人の課題に応じたきめ細やかな研修



また、母国で好まれている品種 NERICA1(香り米)や NERICA 4(高収量米)、日本の陸稲などを用いながら、播種時期や間隔、施肥の量やタイミングをどのようにすれば収量が増えるか等、本国で抱える課題に応じて、個別の実験計画を作成し、より実践的な技術を身につけています。

このような個々のニーズに対応した長期の農業研修は JICA 筑波以外に例がなく、他の JICA 研修員の視察なども受入れ、研修員は自信を持って自分の実習内容を伝えられるようになっています。

【研修コース基本情報】

研修コース名	アフリカ地域 陸稲栽培及び品種選定技術
お問い合わせ先	JICA 筑波 代表メールアドレス: tbicttp@jica.go.jp